

7月 世界に挑む日本人指揮者、佐渡裕を特集放送！

7月2日(土) 20:30～より放送スタート。

【速報】さらに、9月は「グラフェネック音楽祭2016」での佐渡が指揮する「ベートーヴェン：第九」日本最速初放送！

日本で唯一のクラシック音楽専門チャンネル クラシカ・ジャパン(株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10/代表取締役社長 植村徹)が6月より3ヶ月に渡ってお届けしている特集「世界に挑む日本人たち」。7月は、指揮者の佐渡裕を特集します。

特集では、オーストリアを代表するトーン・キュンストラ管弦楽団の音楽監督に就任した佐渡裕が、指揮者としての現地での活動、自身の目指す「音楽」に対する想いを熱く語るオリジナルインタビュー番組『クラシカ・音楽人くびと』『佐渡裕～指揮者ということ』や、佐渡のヨーロッパでの活躍をお伝えする日本初放送のオペラ、コンサートなど豪華全4番組を一挙放送。

更に、9月のクラシカ・ジャパンでは今年8月19日に行われる「グラフェネック音楽祭2016」で佐渡とトーン・キュンストラ管弦楽団が演奏する「ベートーヴェン：第九」をどこよりも早く日本最速で初放送。この公演は同音楽祭の10周年を記念したオープニングとして披露されます。ウィーンの空に響く、佐渡の魂の第九を是非お見逃しなく。どうぞお楽しみに！



©Yuji Hori

佐渡裕 (さど ゆたか) 1961年生まれ。京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年、プザンソン国際指揮者コンクール優勝。1995年、第一回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクールで優勝。パリ管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、一流オーケストラに多数客演している。2015年9月よりオーストリアを代表する、108年の歴史をもつトーン・キュンストラ管弦楽団音楽監督に就任した。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席指揮者を務めている。著書は『僕はいかにして指揮者になったのか』(新潮文庫)、『僕が大人になったら』(PHP文庫)、『棒を振る人生 指揮者は時間を彫刻する』(PHP新書)などがある。

日本初放送 クラシカ・音楽人くびと「佐渡裕～指揮者ということ」

【初回放送】7月2日(土) 20:30～21:00

★無料放送(※一部地域を除く) / ★ひかりTVビデオオンデマンドサービス、J:COMオンデマンド、スカパー！オンデマンドでもご覧いただけます。

“そこに集まった国籍も考え方も違う聴衆が、音楽を通して共感し「今この時を一緒に生きている」と感じることができる。これが音楽のもっている力であり、僕が音楽をする重要な理由です。” (インタビューより)



©CLASSICA JAPAN/熊谷仁男

チャンネル独自の視点で、話題の音楽人の本音に迫るインタビュー番組。7月は、佐渡裕が登場。バーンスタインのアシスタントとして最初の海外生活を送ったウィーン、名門オーケストラの音楽監督として指揮台に立つ現在。その先にある新たな目標、さらには佐渡裕の目指す音楽とは。

日本初放送 佐渡裕の『フィガロの結婚』2015 in トリノ

【初回放送】7月2日(土) 21:00～24:15



Ramella&Giannese©Teatro Regio Torino

ヨーロッパで放送され大評判を呼んだ佐渡裕が指揮した2015年の『フィガロの結婚』。高い歌唱力を誇る主役5人をまとめ、モーツァルトの名作に新たな生命とエネルギーを吹き込む佐渡の音楽作りは必見。

[出演]ミルコ・バラツツィ(フィガロ)エカテリーナ・バコノワ(スザンナ)ヴィト・プリアンテ(アルマヴィヴァ伯爵)カルメラ・レミージョ(伯爵夫人)パオラ・ガルディーナ(ケルビーノ)他 [演目]モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』K.492[台本]ロレンツォ・ダ・ポンテ [演出]エレナ・バルバリッチ [指揮]佐渡裕 [演奏]トリノ王立劇場管弦楽団及び同合唱団 [収録]2015年2月12日トリノ王立劇場

日本初放送 佐渡裕の「レドリーボン・コンサート」2015

【初回放送】7月24日(日) 21:00～22:05

HIV/AIDSと共に生きる人々を理解し支援するコンサート。指揮は佐渡裕、演奏はトーン・キュンストラ管弦楽団。“現代最高のディーバ”ネトレブコと“100年に1人のテノール”フローレスの圧巻の歌声も必見。

[演目]テレア：歌劇『アドリアーナ・ルクヴール』～「私は芸術の下僕」[出演]アンナ・ネトレブコ(ソプラノ)[演目]シンディン(ハンス・ジット)編曲：春のささやき[演目]オッフェンバック：喜歌劇『美しいエレーズ』～「パリスの審判」[イダの山には3人の女神がおられ] [出演]ファン・ディエゴ・フロレス(テノール)[演目]ベートーヴェン：劇音楽『エグモント』Op.84～序曲[演目]マイア・ベア：歌劇『アフリカの女』～「ヴァスコ・ダ・ガマのアリア」[おお、パラダイス] [出演]ビョートル・ベチャワ(テノール)[演目]ドヴォルザーク：歌劇『ルサルカ』～「月に寄せる歌」[出演]クリスティーネ・オボライス(ソプラノ)[演目]レハール：喜歌劇『微笑みの国』～「君は我が心のすべて」 [出演]アンナ・ネトレブコ(ソプラノ)ビョートル・ベチャワ(テノール)エシフ・エイヴァゾフ(テノール) 他 [指揮]佐渡裕[演奏]トーン・キュンストラ管弦楽団 [収録]2015年5月15日ブルク劇場(ウィーン)



アンナ・ネトレブコ©Fritz Novopack

チャンネル初放送 佐渡裕 バリ管を振る2013

【初回放送】7月31日(日) 21:00～23:00

2013年6月のパリ管定期演奏会は、指揮台に佐渡裕が登場。ヴェルディ生誕200年に因んで、ヴェルディ・オペラ合唱曲集をメインに、オペラも得意とする佐渡の魅力がたっぷり楽しめる。



CLGM

[演目]イベル：ディヴェルティメント、ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲Op.43、歌劇『ナブッコ』～「序曲」開幕の合唱「祭りの晴れ着がもみくちや」ヘブライの捕虜たちの合唱「行け、わが思いよ、金色の翼に乗って」歌劇『アイダ』～凱旋の合唱「エジプトとイスラの神に栄光あれ」ほか [指揮]佐渡裕 [演奏]パリ管弦楽団及び同合唱団、ポリス・ベレゾフスキー(ピアノ) [収録]2013年6月5日サル・プレイエル(パリ)

【速報】ヨーロッパで生中継された話題の公演を日本最速でお茶の間にお届けするクラシカ・ジャパンの「ヨーロッパ直送宣言！」。

9月は佐渡裕指揮、トーン・キュンストラ管弦楽団による「グラフェネック音楽祭 2016」10周年記念オープニングの「ベートーヴェン：第九」を**日本最速初放送!**

【クラシカ・ジャパン】ドイツで誕生した世界初のクラシック音楽専門チャンネル“CLASSICA”の日本版で、1998年に開局した日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル。話題のコンサートからオペラ、バレエ、ドキュメンタリーまで、毎月100タイトル以上の音楽番組を放送中。クラシック音楽の名曲を、ホールの臨場感とともに毎日24時間お楽しみいただけます。スカパー！プレミアムサービス(637ch)、スカパー！プレミアムサービス光(637ch)、全国のケーブルテレビ局、ブロードバンドTVでご覧頂けます。

■視聴に関するお問い合わせ先■

クラシカ・ジャパン <http://www.classica-jp.com> カスタマーセンターTEL:045-330-2178 (受付時間：平日9:30～18:30 ※土日・祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先■

(株)東北新社 デジタルメディア事業部 編成企画部 プロモーション 担当：林[m-hayashi@tfc.co.jp]
〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0305 FAX:03-5414-0433